

業務連携クラウドワーキング

株式会社 博報堂

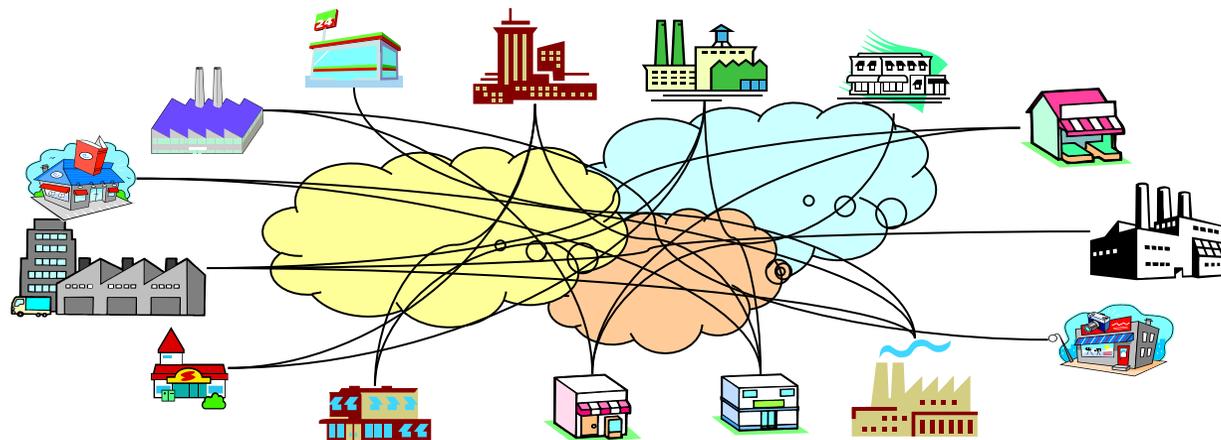
業務連携クラウドWGの主旨

1. 製造業におけるメーカーと系列企業の安定したピラミッド構造が変革期を迎えており、系列企業もメーカーに依存しない業務連携ができる環境が必要になっている。
また、業務の効率化やスケールメリットを活かせる企業の業績が伸びている。
2. クラウドは運用コストが安価なため、従来情報化投資が出来なかった中小企業に向いている。
3. クラウドを効果的に活用し、中小企業の業務支援ができれば、地域経済の活性化に繋がる。



業務連携クラウドWGで検討した内容

『業務連携クラウドは必要に応じて誰とでも業務連携ができるクラウド活用環境を提供する』



業務連携クラウドWGレビューの場として地域協議会を設置

業務連携クラウドWGの検討内容のレビュー及び業務連携クラウドを活用して提供する中小企業に必要なアプリケーションやサービスについて検討

【地域及びメンバー】

◆地域 : 山梨県、愛知県・豊田市、京都市、愛媛県、香川県、徳島県、高知県(四国4県)で開催
各地域の交流会も実施

◆メンバー : 自治体、商工会議所、地域ITベンダー、金融機関、ユーザー(中小企業)、
／総合通信局、経済産業局

※レビュー等に関する助言を頂いた団体

中小企業家同友会全国協議会、ITコーディネータ協会、モノヅクリネット、流通システム開発センター、(次世代EDI推進協議会)

【地域協議会で検討されたアプリケーション・サービス】

製造業工程管理、自動車部品EDI、図面管理&見積システム、農業生産管理・流通管理
(eコマース・ポイントカード・POS:検討段階)

地域協議会関係者が検討・導入したアプリケーション及びサービスと課題

◆図面管理&見積もりシステム

過去の図面や見積りをDB化し、作成時の参考として活用し、見積作成時間の短縮と作成者毎の精度のバラつきをなくし、作業効率の向上と見積作成人件費コスト削減を実現した。

課題:より多くのユーザーへの普及については、他のアプリケーションとの組合せや素材の共同仕入れ等、製造業としてスケールメリットを創出できるクラウドの活用が望まれる。

◆カード決済システム

複数の商店街が共通で活用できる、クレジットカードシステムを開発提供。ランニングコストが安価で、商店街が継続利用している稀有な成功事例。

課題:小額決済が多い、飲食、喫茶等の店舗では普及が進んでいない。また、フランチャイズ等のように、POS連動やマーケットデータの活用がない。他地域からは総合的な利活用が期待されている。

◆自動車EDI

自動車系列の一次メーカー毎に異なっていたEDIを共通化する取組が始まり、二次メーカー以降の自動車部品製造のEDIも共通化する取組が進んでいる。将来は、一つのEDIとして共通化する方向で進んでいる。

課題:二次メーカー以降の自動車部品製造業(特に中小企業)は、EDIだけでは(コスト削減、売上向上)のメリットがなく他のアプリケーションやサービスの組合せができるクラウドの活用が望まれる。

地域協議会レビューを受けて:クラウド利活用の期待と条件

【導入への期待】

- 1. 競争力・組織・財務・業務に関する様々な企業の抱える課題の解決
- 2. 変化する市場環境に沿った企業の対応

【変化する市場環境】

- ◆流通(流通構造・形態の変化)
- ◆作り手(途上国への移管、新興国の台頭)
- ◆ものづくり(技術革新、市場の変化)

=

市場の規模・状況
に応じて対応



【企業の対応】

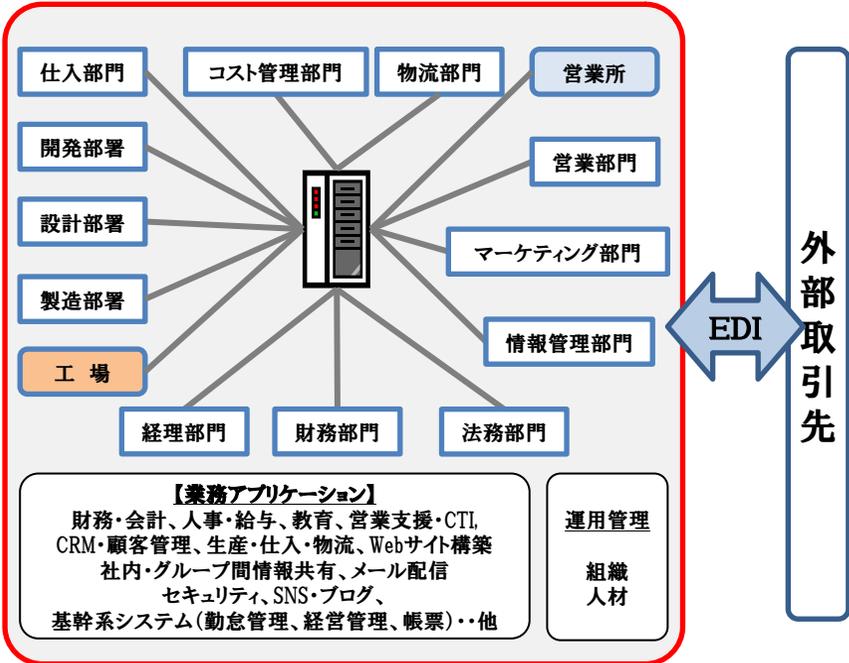
- ◆競争力の強化
- ◆市場開拓
- ◆業態転換

【導入の条件】

- ◆導入コストの低減 (= 海外クラウド事業者に対する競争力の強化)
- ◆汎用性 (= 市場に合わせた柔軟な活用環境)
- ◆活用メリット (= ユーザーレベルに合わせた活用効果)

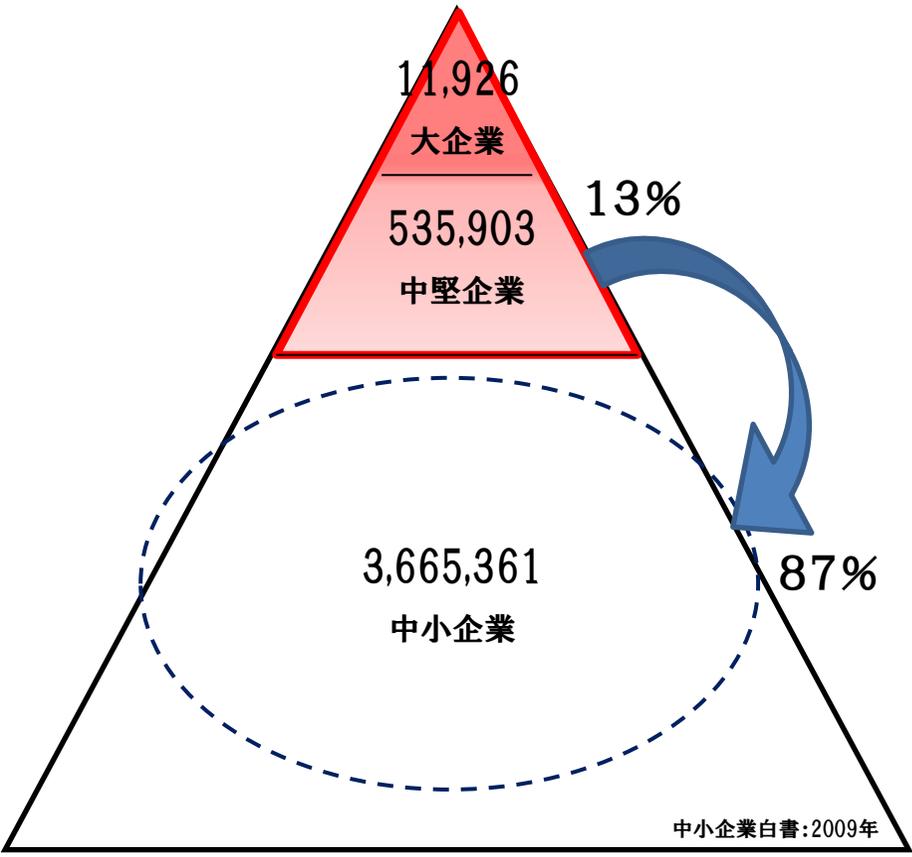
- ①スケールメリット
- ②不足の補完、付加価値
- ③経営等判断のための情報提供

業務連携クラウド利活用の対象者

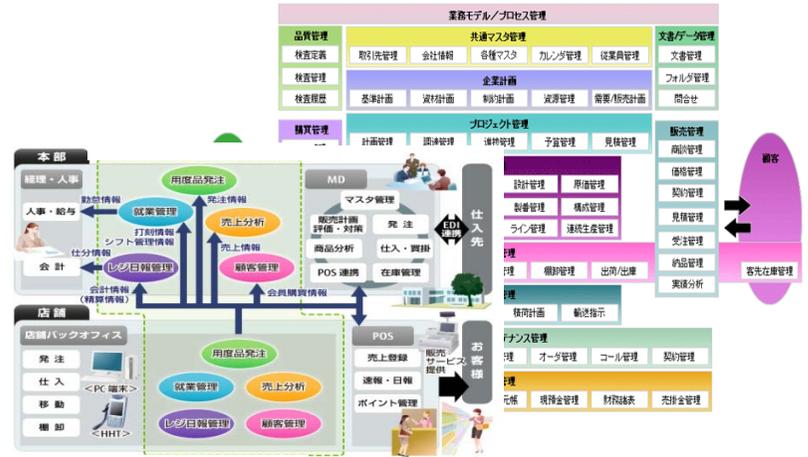


大手・中堅企業を中心に普及が進んだ、左記のようなICT利活用環境をより広い層が活用できるように拡大する。

⇒ 87% (366万社) の新たな市場を創造する
 売上規模102兆円、就業者917万人の活性化を図る

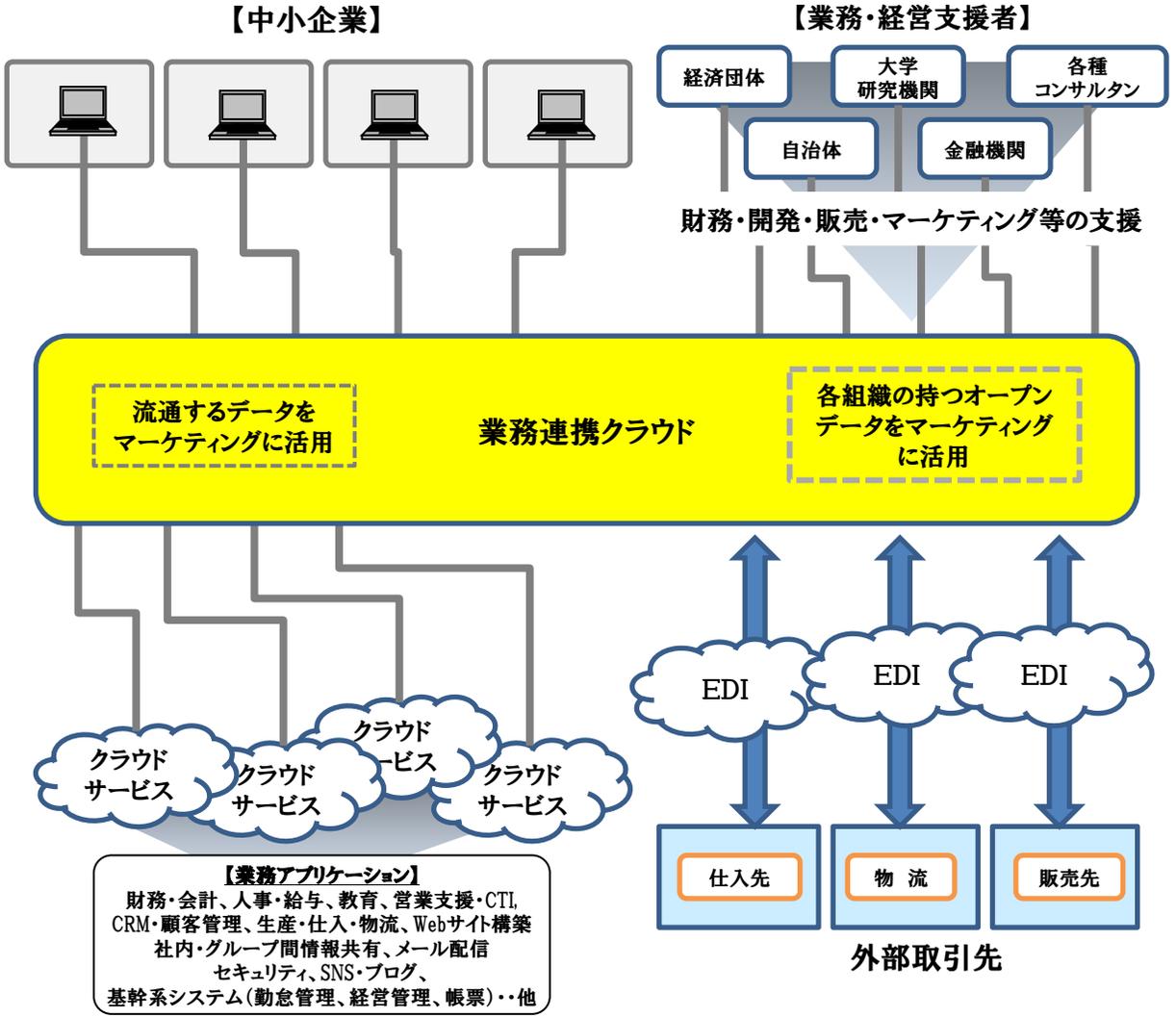
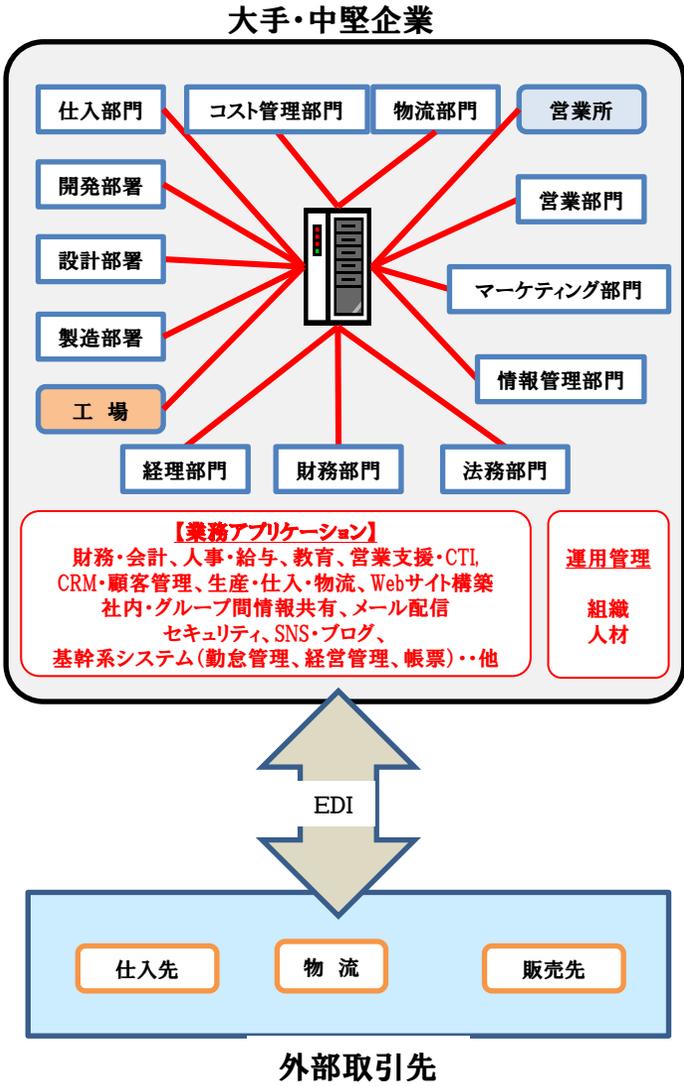


<パッケージの管理システムの登場>



業務連携クラウドの概要

「スケールメリット」「不足の補完・付加価値」「情報提供」を連携によって実現

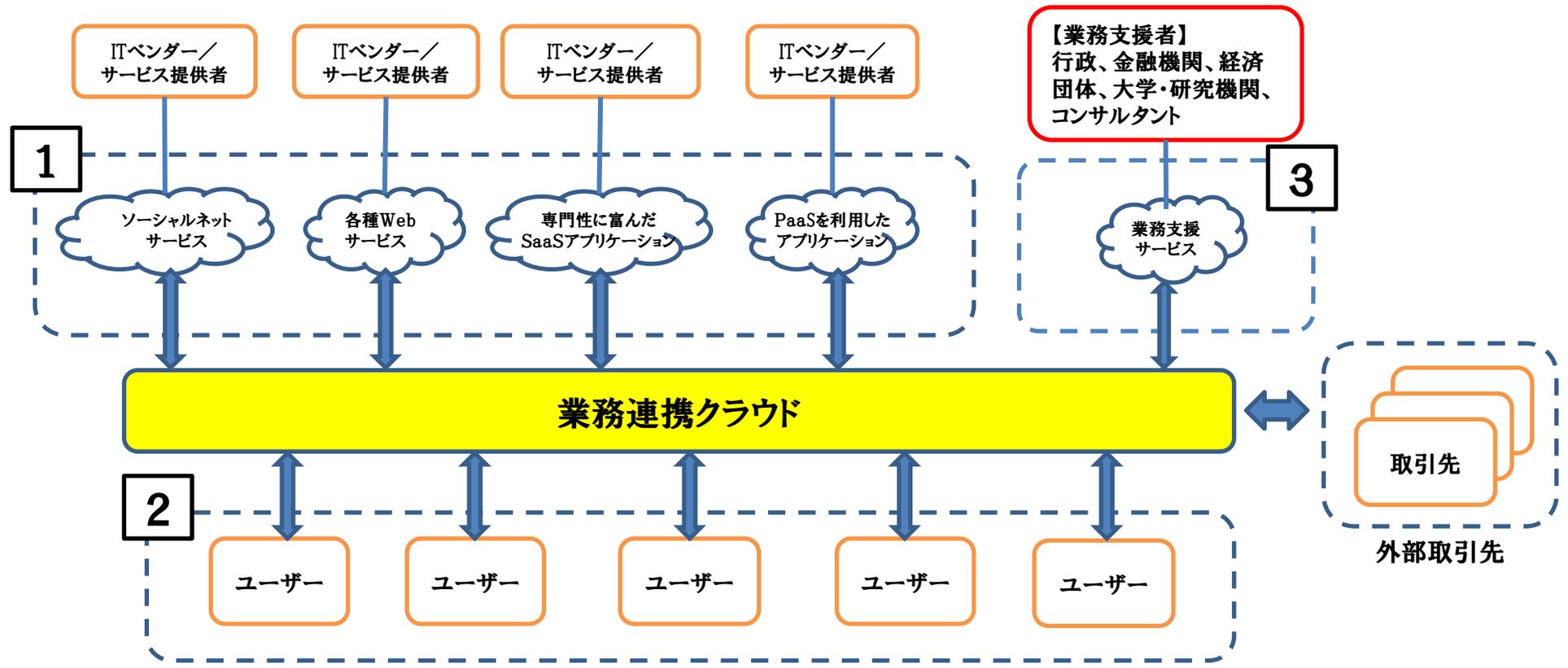


様々なサービスのワンストップ、シングルサインオンの環境を提供

業務連携クラウドの概要

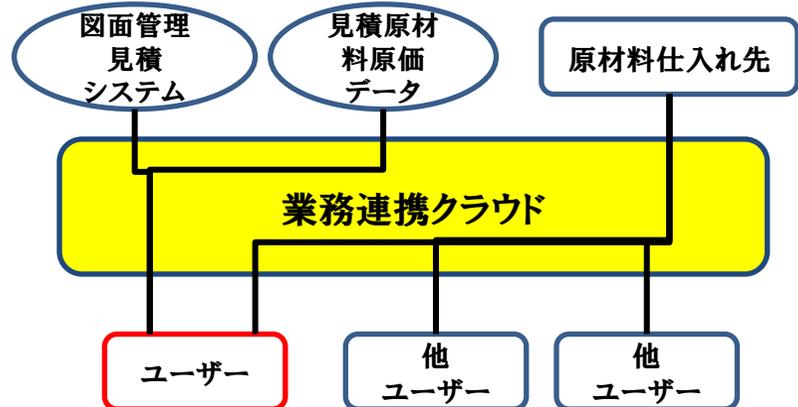
- 1. 『束ねる』 : 異なるクラウドサービスのワンストップ、シングルサインオンの実現
- 2. 『連ねる』 : ユーザー間業務の横連携や情報共有をワンストップで実現
- 3. 『支援する』 : 業務や経営支援をワンストップで受ける環境を提供

【ネットワーク型ビジネス連携ができるプラットフォーム】



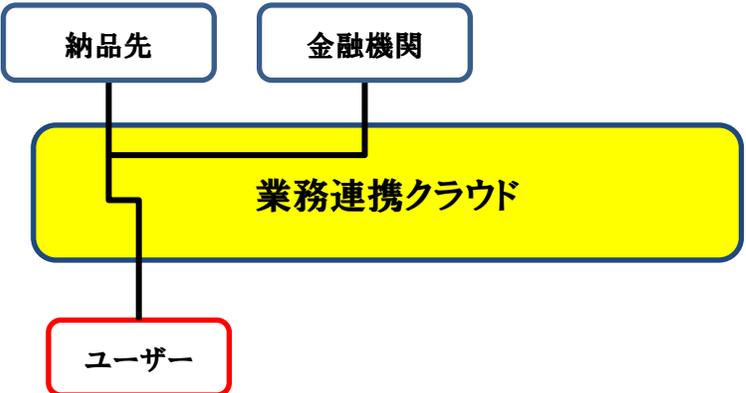
地域協議会における課題解決への業務連携クラウド活用案

図面管理&見積システム



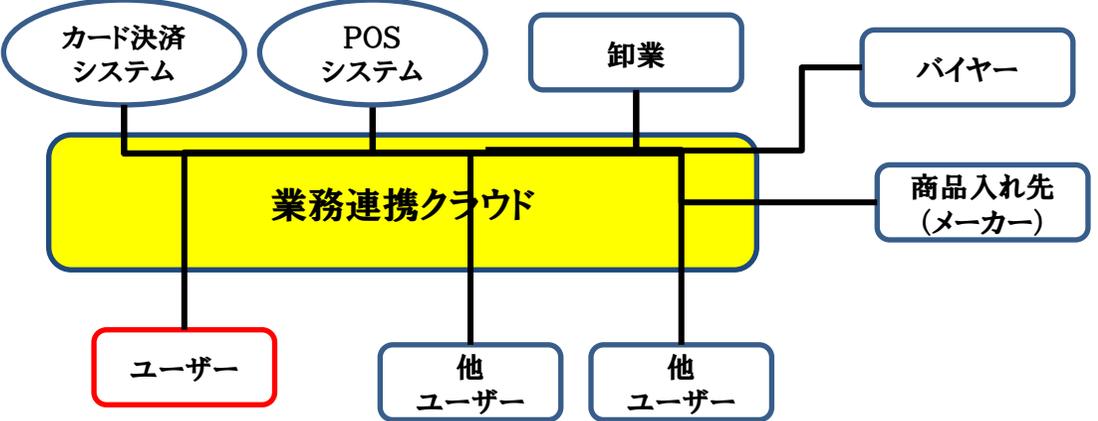
- ◆見積システムと原材料データの連携で、見積作成時間の短縮
- ◆製作段階で、他ユーザーと原材料共同仕入れによって原価の削減

自動車EDI



- ◆納品先からのEDI発注をエビデンスとして、金融機関から融資を受ける

カード決済システム



- ◆カード決済とPOSシステムを連携させる。
- ◆POSデータを基に、バイヤー、メーカーと共に売れる商品、在庫の無い商品管理を実現